

長野市奨学金制度の見直しについて

1. 制度概要

項目	内容		
目的	経済的な理由で、高等学校等での修学が困難な学生を支援するため、無利子で奨学金を貸付		
根拠法規	長野市奨学基金条例（昭和43年3月27日長野市条例第10号） 長野市奨学資金の貸付けに関する規則（平成7年3月30日長野市規則第15号）		
財源	長野市奨学基金（総額： <u>179,591,428円</u> ）※R4.3.31現在 <ul style="list-style-type: none"> — 貸付額：44,061,504円 — 現金保有残高：135,529,924円 		
奨学生の要件	公立若しくは私立の高等学校（定時制を含む。）又は国立高等専門学校に在学する者で、以下をすべて満たす者 <ul style="list-style-type: none"> ・長野市に引き続き1年以上居住 ・学業、性行共に優秀で健康 ・経済的理由により修学困難と認められる ・出身中学校または在学の高等学校の長が推薦 ・他団体から別に学資の貸与を受けていない 		
貸付額 (月額)	区分	出願資格を満たす者	左のうち特に優秀と認められる者 ※
	公立	18,000円以内	21,000円以内
	私立	30,000円以内	40,000円以内
	国立高専	21,000円以内	24,000円以内
※H26年度から、「特に優秀と認められる者への貸付額増額」を追加			

2. 現状・課題、見直しの方向性

現状・課題

(現行制度の課題)

- 申込者が減少傾向
- 類似する県の奨学金制度の方が利用しやすい
- 市制度、県制度いずれも利用できないケースあり(成績・収入要件を満たせない等)

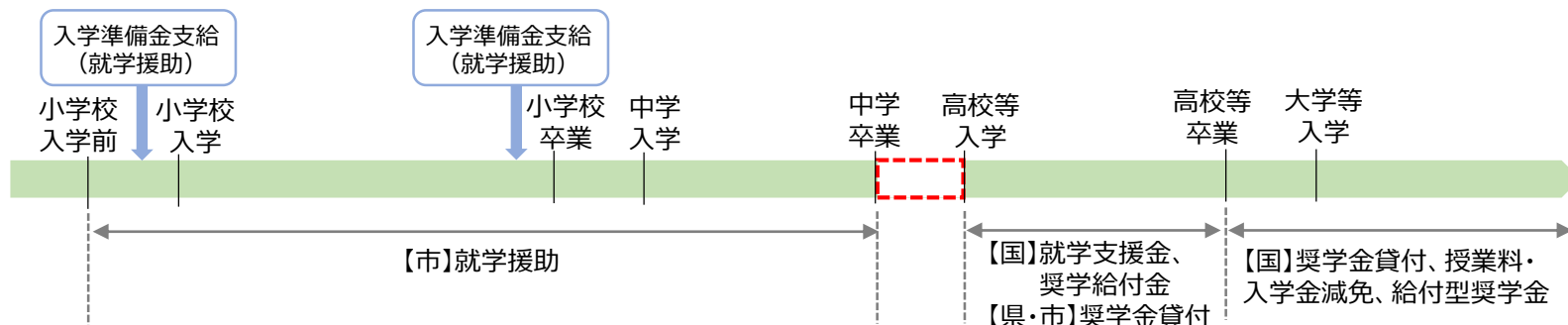
(制度を取り巻く状況)

- 現在の暮らしの状況を“苦しい”と感じる保護者の割合が2割を超えている(「R3 長野市子どもの生活状況に関する実態調査」より)
- 私立通信制高校の生徒数が増加傾向(入学前に多額の費用が必要となるケースあり)

(教育支援の状況)

- 国等の教育支援制度が充実してきている中、高校等入学前の支援が少ない

※教育委員会による制度無し。対象者が限定的な制度(母子父子寡婦福祉資金、社協の貸付)、他機関の有利子付制度は有り。



見直しの方向性

高校入学前

新 入学準備金貸付制度の新設

中学校から高校等への切れ目のない教育的支援の実現

高校入学後(現行制度)

より利用しやすい制度に改善

- ・対象校の拡大、成績要件の緩和
- ・貸付け時期を早期化

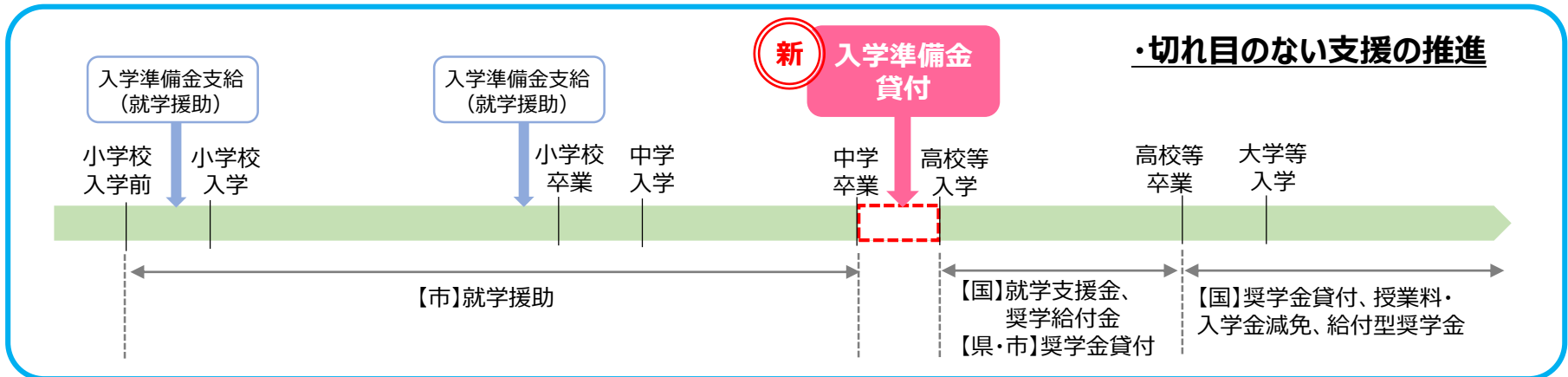
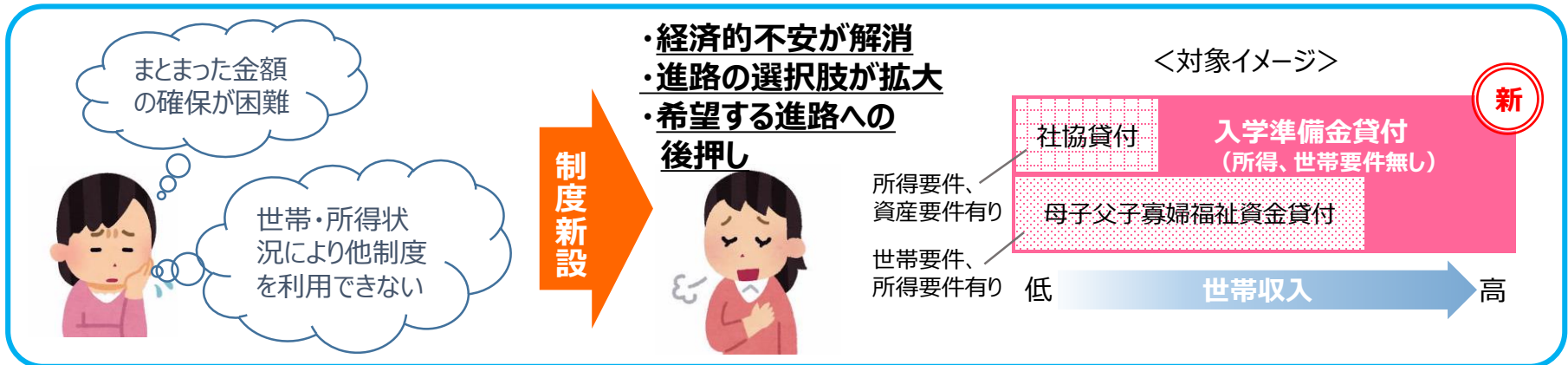
3. 入学準備金貸付制度の新設

制度概要

こどもの進学時における保護者の経済的負担の軽減を図るため、入学準備金を貸付

目的・効果

- ・中学校（義務教育）から高校等への切れ目のない支援を行うことで、教育の機会均等が図られる
- ・進学にかかる経済的不安を解消することで、こどもの進路の選択肢が広がるとともに、希望する進路への後押しにつながる



制度内容（案）

対象者

- ・高校等（高校、特別支援学校の高等部、高等専門学校等）に入学予定の生徒の保護者
- ・見込件数：30件程度

同制度を実施している中核市の事例を参考

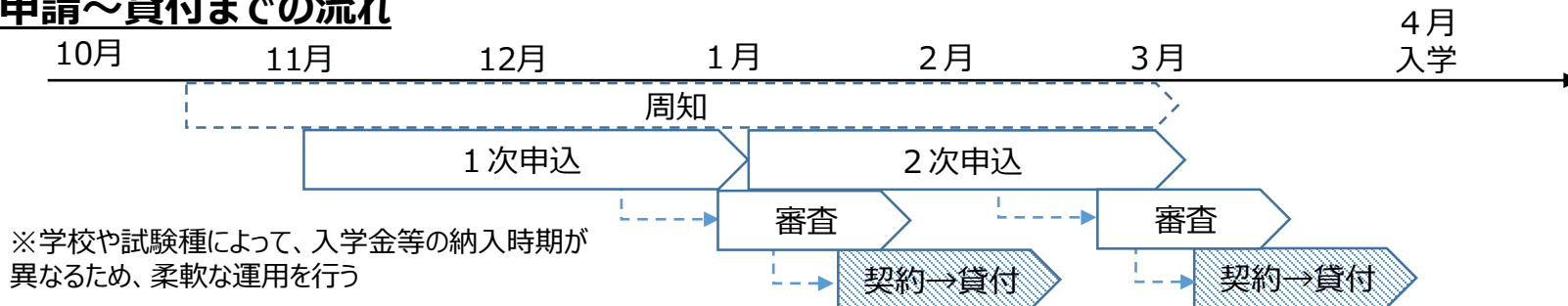
貸付上限額（無利子）

高校（公）	150,000円以内
（私）	400,000円以内

【考え方】高校入学時にかかる費用をカバーできる金額を設定
※文部科学省の「子供の学習費調査」、「私立高等学校等初年度授業料等の調査」結果

公立：入学金等5,650円、教材費約35,000円、制服等約55,000円、
通学用品費：約18,000円
私立：入学金等約250,000円、教材費約35,000円、制服等約71,000円、
通学用品費：約18,000円

申請～貸付までの流れ



償還期間等

- ・入学した年度の1月から最長6年間（月々の返済額を抑えることで、返済時の負担を軽減）
- (例)150,000円貸付 → 約2,100円×72か月
400,000円貸付 → 約5,500円×72か月

4. 現行制度の運用変更

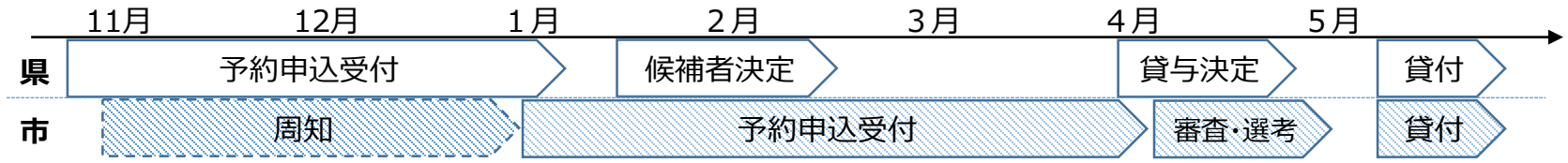
目的・効果

申込時期の早期化・柔軟化、選考期間の短縮を行い、支援のスピードアップを図るとともに、対象校の拡大及び成績要件の緩和を行い、利便性の向上を図る

変更内容（案）

	現行	変更後
対象校	高校、国立高専	高校、国立高専、 <u>特別支援学校の高等部</u> 、 <u>専修学校</u>
成績要件	通常：中3時の9教科平均が2.3以上 特に優秀：中3時の5教科平均が4.0以上	通常：成績不問（ <u>修学の意欲があること</u> ） 特に優秀：中3時の5教科平均が <u>3.5以上</u>
申込時期	前期：～4/25 後期：～9/25	・予約募集（3月中下旬） ・随時申込可
貸付までの流れ	4月下旬 前期申込期限 5月上旬 選考委員会準備 5月中下旬 選考委員会→契約 6月中下旬 貸付	3月中下旬 予約募集期限 4月中下旬 選考委員会準備→開催 4月下旬～ 契約 5月中旬 貸付 ※ 4月以降に随時申込があった場合、選考委員会は書面開催とする。

<変更後スケジュール>



・予約申込を3月末まで行うことで、県の予約申込で対象とならなかった人をカバー

5. 今後のスケジュール

R4.6.28	部長会議
R4.7. 6	議会政策説明会
R4.8. 4	法規審査委員会
R4.9月	9月議会（条例、規則改正）
R4.10月～	周知、申請受付開始
R5.1～3月	【準備金】選考→貸付
R5.4～5月	【奨学金】選考→貸付